

事業報告書

〔自 平成 25(2013)年 4 月 1 日 至 平成 26(2014)年 3 月 31 日〕

1. 事業概要

平成 25(2013)年度の事業においても、これまで同様「人間のより一層の幸せを目指し、将来の福祉社会の発展に資する」ことを目的に、生活・自然環境、社会福祉、教育文化等の現代社会の諸課題に対して正面から向き合い、その研究ならびに事業に対し助成を行うとともに、その成果について社会へ発信することを目指した。

特記事項としては、以下の通り、助成継続の必要性が高い東日本大震災被災地域への支援を引き続き行うとともに、アジア隣人プログラムを国際助成プログラムと名称変更し 1 年間のパイロットプログラムとして助成を実施したこと、イニシアティブプログラムの枠組みの中で、複数年にわたるプロジェクト等大型のプロジェクトに対し助成を実施したことなどである。

- (1) 前年度に引き続き、国内助成プログラム内に東日本大震災対応の「特定課題」を設定し助成を実施。
- (2) イニシアティブプログラムの枠組みの中で、前年度同様、パナソニック教育財団との東日本大震災対応共同助成を実施。
- (3) 国際助成プログラムにて、『東南アジア新興国と日本の共通する課題：学びあいを通じた解決へ』を基本テーマとし、従来型の途上国援助ではなく各国の活動を通じて互いに学びあい、自国の解決策を見出していくプロジェクトを支援。
- (4) ユネスコ文化資産保全人材育成支援プログラム、SEASREP20 周年総括 3 年プロジェクト等への助成を実施。

<平成 25(2013)年度助成実績>

助成プログラム		応募件数	助成件数	助成金(千円)	予算(千円)
公 募	研究助成プログラム				
	(共同)	310	14	76,500	80,000
	(個人)	327	19	23,500	20,000
	国際助成プログラム	175	20	60,000	60,000
	国内助成プログラム				
	(一般枠)	298	20	70,000	70,000
	(東日本大震災対応)	39	22	30,000	30,000
非 公 募	イニシアティブプログラム				
	イニシアティブ助成	4	5	48,000	48,000
	SEASREP	2	2	40,000	40,000
	社会コミュニケーションプログラム	—	4	16,000	16,000
計			106	364,000	364,000

II. 助成内容

1. 研究助成プログラム

<一般枠>

当年度は、昨年度と同様、<カテゴリーA>「共同研究助成」と<カテゴリーB>「個人研究助成」という二つのカテゴリーにおいて助成を行った。未来に向けて斬新なビジョンを提案するプロジェクトを積極的に支援しようという考え方を継続しつつ、外部有識者の助言などにより、募集書類の表現や体裁に工夫を図り、助成の趣旨の明確化に努めた。その結果、プログラムとの合致度の高い、意欲的な応募が増加し、先駆的で社会的意義の大きなプロジェクトに助成を行うことができた。

<カテゴリーA> 共同研究助成

1. 「社会の新たな価値の創出をめざす研究」
2. 「社会的課題の解決に資する研究」

<カテゴリーB> 個人研究助成「よりよい未来を築くために」

(1) テーマ： 「よりよい未来を築く知の探究」

(2) 公募期間： 2013年4月1日～5月7日

(3) 助成実績

上段：2013年度
(下段：2012年度)

応募件数	助成件数	助成金額(千円)	予算(千円)	採択率
637 (880)	33 (34)	100,000 (95,090)	100,000 (100,000)	5.2% (3.9%)

<<2013年度の内訳>>

上段：2013年度
(下段：2012年度)

	応募件数	助成件数	採択率
共同研究助成<A1>	126件 (149件)	6件 (5件)	4.8% (3.4%)
共同研究助成<A2>	184件 (236件)	8件 (8件)	4.3% (3.4%)
個人研究助成	327件 (495件)	19件 (21件)	5.8% (4.2%)
合計	637件 (880件)	33件 (34件)	5.2% (3.9%)

2. 国際助成プログラム (アジア隣人プログラムから名称変更)

当年度は、昨年度のアジア隣人プログラム特別企画において実施した新たなアジアと日本の関係の提示という考えを一步進め、試行的に「国際助成プログラム」を開始した。対象地域を東南アジアの4か国(インドネシア、ヴェトナム、タイ、フィリピン)と日本に限定し、これらの国々と日本に共通する課題について、既存の知見に基づく政策提言型の活動に助成を行った。本プログラムを通じて日本とアジア各国が自他の実像と課題を理解し、従来の「支援者-受け手」という関係にかわる、未来に向けた新たなパートナーシップを築いていくことを目的としている。

(1) テーマ： 「東南アジア新興国と日本の共通する課題：学びあいを通じた解決へ」

(2) サブテーマ： (A) 高齢化社会

(B) 多文化社会

(C) 身近な環境をめぐる合意形成

(3) 対象国： タイ、インドネシア、ヴェトナム、フィリピン、日本

(4) 公募期間： 2013年5月7日～6月21日

(3) 助成実績

上段：2013年度

(下段：2012年度)

応募件数	助成件数	助成金額(千円)	予算(千円)	採択率
175	20	60,000	60,000	11.4%
(106)	(19)	(49,800)	(50,000)	(17.9%)

3. 国内助成プログラム

<一般枠>

当年度の国内助成プログラムでは、『人がつながり、地域が動く ―活力溢れる地域の実現』をテーマとし、昨年に引き続き「活動助成」「地域間連携助成」という二つのカテゴリーを設け、多様な個人、団体、組織がともに連携し、地域にくらす人びとの主体性とつながりを育み、課題の解決に向けて真正面から取り組む、持続的かつ意欲的なプロジェクトに対し助成を行った。

「活動助成」 特定地域(市町村自治体)において、地域に暮らす人びとが主体となって地域課題の解決を目指す、意欲的な取り組み

「地域間連携助成」 同様の課題を抱える複数の地域が連携・協力して、ノウハウ共有や課題の解決を目指す取り組み

(1) テーマ： 「人がつながり、地域が動く ―活力溢れる地域の実現」

(2) 公募期間： 2013年10月1日～11月8日

(3) 助成実績

上段：2013年度

(下段：2012年度)

応募件数	助成件数	助成金額(千円)	予算(千円)	採択率
298	20	70,000	70,000	6.7%
(508)	(23)	(80,000)	(80,000)	(4.5%)

《2013年度の内訳》

	応募件数	助成件数	採択率
活動助成	231件	15件	6.5%
地域間連携助成	67件	5件	7.5%
合計	298件	20件	6.7%

<特定課題>

当年度も東日本大震災対応の「特定課題」として助成を行ったが、昨年度までの「活動助成」「地域間連携助成」というカテゴリー別の助成ではなく、東日本大震災被災地住民による復興まちづくりを支援すべく、過去に地震や津波などの自然災害によって大打撃を受け、そこから復興に取り組んだ地域へ直接訪問し、現地でその関係者の経験や現在のまちの姿を学ぶ活動を対象に助成を行った。

- (1) 公募期間： 2013年10月1日～11月15日
- (2) 応募資格： 岩手、宮城、福島で復興活動に取り組んでいる東日本大震災被災地の関係者によるグループ。定常的に活動しているグループでも、今回の訪問学習のために編成するグループでも可。法人格の有無を問わず。
- (3) 訪問学習先： 奥尻島、玄界島、中越、阪神・淡路
- (4) 助成実績

応募件数	助成件数	助成金額(千円)	予算(千円)	採択率
39	22	30,000	30,000	56.4%

<<2013年度の内訳>>

	岩手	宮城	福島	その他	計
応募件数	14	18	4	3	39
助成件数	9	12	1	0	22

4. イニシアティブプログラム

当年度も東日本大震災への対応として、被災地域における子どもの居場所作りと次世代育成への取り組みに対し、公益財団法人パナソニック教育財団と共同で助成を行うとともに、民間財団として助成の意義の大きいと判断されるプロジェクトへの助成も行った。また、引き続きフィリピンのSEASREP財団が行うアジア地域内の若手研究者育成を狙いとしたプログラムへの助成を行うとともに、20周年を迎えるSEASREPを総括する3年プロジェクトへの助成も行った。

○助成実績

(単位：千円)

	題 目	助成対象者	助成金額
「東日本大震災」対応 (パナソニック教育財団との共同助成)			
①	宮城県内の仮設住宅地における「子ども未来館」の運営と、同事業への地元アクターへの引き継ぎ	(特活)「人間の安全保障」フォーラム	5,000
②	被災地仮設住宅等における「遊び」・「学習」等を通しての子育て環境整備とコミュニティづくり	(特活)ビーンズふくしま	5,500
③	子どものエンパワメント支援事業 - 夢の実現につながる居場所づくりと学習支援	(一社)子どものエンパワメントいわて	4,500

イニシアティブ助成			
①	(公財)助成財団センターの事業強化 – 新制度化における助成財団界による公益の増進に向けて	(公財)助成財団センター	3,000
②	ユネスコ文化資産保全人材育成支援プロジェクト	立命館大学歴史都市防災研究所	30,000
東南アジア研究地域交流プログラム (SEASREP)			
①	2013 年度 SEASREP 事業の実施	SEASREP 財団	10,000
②	2014～2016 年度 SEASREP 事業の実施	SEASREP 財団	30,000
合 計			88,000

5. 社会コミュニケーションプログラム

本年度も引き続き、全プログラムを対象に、助成プロジェクトの成果や方法などを社会に発信・普及させることを目的に助成を行った。2012 年度アジア隣人プログラムの全助成対象者が交流・連携し、それぞれの成果を日本社会の関係者へ効果的に発信する活動に助成を行った(1 件・1,000 万円)ほか、研究成果を広く周知するためのガイドブック・リーフレットの作成やシンポジウム開催などの活動に対し助成を行った(2 件・400 万円)。また、過去の東南アジア研究地域交流プログラムにおけるヴェトナムでの助成プロジェクト成果出版のためのワークショップ開催に対しても助成を行った(1 件・200 万円)。

○助成実績

上段：2013 年度
(下段：2012 年度)

助成件数	予算(千円)	助成金額(千円)
4	16,000	16,000
(4)	(20,000)	(11,266)

III. その他の活動

1. 広報活動

プログラム部門と連携した座談会等を企画し、その成果を広報誌誌面やウェブサイトで発信するなどプログラム部門との連携を強化した。広報誌(JOINT)は、臨時号を含め年4回発行した。

	刊行日	特集タイトル	発行部数
第12号	2013年4月15日	社会の新たな価値の創出	5,000
第13号	2013年10月15日	住民主体の復興のために	
臨時号	2013年11月28日	豊田英二名誉会長追悼「今、その志から学ぶ」	
第14号	2014年1月28日	よりよい社会を描く	

2. 報告会の開催

助成対象者間のネットワーク作り、研究や事業に関する情報交換、助成プロジェクトの成果向上などを目的に報告会を開催した。開催概要は以下のとおり。

開催日	タイトル	開催地	参加者
2013年4月20日	(助成金贈呈式併設報告会) ミニワークショップ「思いを伝えるには」	東京	2012年度助成対象者など約80名
2013年7月19日	アジア隣人プログラム特別企画「未来への展望」中間ワークショップ	東京	2012年度助成対象者15名
2013年10月31日	(助成金贈呈式併設報告会) 助成対象者OB・OG報告	東京	2013年度助成対象者など約100名
2014年2月20日	東日本大震災特定課題報告会	仙台	東北地方で活動するNPO関係者・助成対象者など約50名
2014年3月28日	アジア隣人プログラム特別企画成果報告会 「民間国際協力団体が描く未来への展望」	東京	2012年度助成対象者など約50名

3. 研究会の開催

2013年度国際助成プログラムの3つのテーマ領域を取り上げ、2014年度以降の同プログラム設計への助言をいただく場として、有識者及び助成対象者を招き研究会を開催した。

テーマ	開催日	テーマ	開催日
高齢化社会	第1回	多文化社会	第1回
	第2回		第2回
	第3回	環境	第1回
	第2回		

IV. 会議実績

理 事 会

第17回理事会〔平成25年5月29日(水)〕

1. 平成24年度(平成24年4月1日～平成25年3月31日)事業報告(案)及び決算(案)の承認の件
2. 平成25年度イニシアティブプログラム助成対象の決定について
3. 選考委員の選任について
4. 第7回評議員会の日時・場所・目的である事項について
5. 事務局長の任免について

第18回理事会〔平成25年9月26日(木)〕

1. 平成25年度研究助成プログラム助成対象の決定について
2. 平成25年度国際助成プログラム助成対象の決定について
3. 国内助成プログラム東日本大震災特定課題選考委員の選任について
4. 平成25年度会計監査人監査報酬について

報告事項

1. 会長・理事長・常務理事の職務執行状況について
2. 研究助成プログラム・国際助成プログラム助成金贈呈式について
3. 内閣府公益認定等委員会の立入検査について

第19回理事会(書面)〔平成26年2月25日(火)〕

1. 第8回評議員会の日時・場所・目的である事項について

第20回理事会〔平成26年3月18日(火)〕

1. 平成25年度国内助成プログラム「一般枠」助成対象の決定について
2. 平成25年度国内助成プログラム「東日本大震災対応」助成対象の決定について
3. 平成25年度(平成25年4月1日～平成26年3月31日)変更収支予算(案)について
4. 平成25年度イニシアティブプログラム助成対象の決定について
5. 平成25年度社会コミュニケーションプログラム助成対象の決定について
6. 平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)事業計画書及び収支予算書等について
7. 「役員及び評議員の報酬及び費用に関する規程」の改定(案)について
8. 選考委員の選任について
9. 評議員選定委員の選任について

報告事項

1. 会長・理事長・常務理事の職務執行状況について
2. 国内助成プログラム贈呈式について

評議員会

第7回評議員会〔平成25年6月13日(木)〕

1. 平成24年度(平成24年4月1日～平成25年3月31日)事業報告(案)及び決算(案)の承認の件

第8回評議員会〔平成26年3月18日(火)〕

1. 「役員及び評議員の報酬及び費用に関する規程」の改定(案)について
報告事項

1. 平成25年度(平成25年4月1日～平成26年3月31日)変更収支予算(案)について
2. 平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)事業計画書及び収支予算書等について
3. 評議員選定委員の選任について
4. 国内助成プログラム贈呈式について

研究助成プログラム選考委員会

選考準備会	平成25年 6月13日(木)
選考委員会	平成25年 7月25日(木)

国際助成プログラム選考委員会

選考準備会	平成25年 7月12日(金)
選考委員会	平成25年 8月21日(水)

国内助成プログラム選考委員会

選考委員会(特定課題)	平成26年 1月 7日(月)
選考委員会(一般枠)	平成26年 1月30日(木)

イニシアティブプログラム等選考委員会

第1回 選考委員会	平成25年 5月10日(金)
第2回 選考委員会	平成26年 3月 4日(火)

助成金贈呈式

国内助成プログラム

平成 25 年 4 月 20 日(土)

(於ハイアットリージェンシー東京)

研究助成プログラム・国際助成プログラム

平成 25 年 10 月 31 日(木)

(於ハイアットリージェンシー東京)

V. 附属明細書

平成 25(2013)年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項にて規定される「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しない。